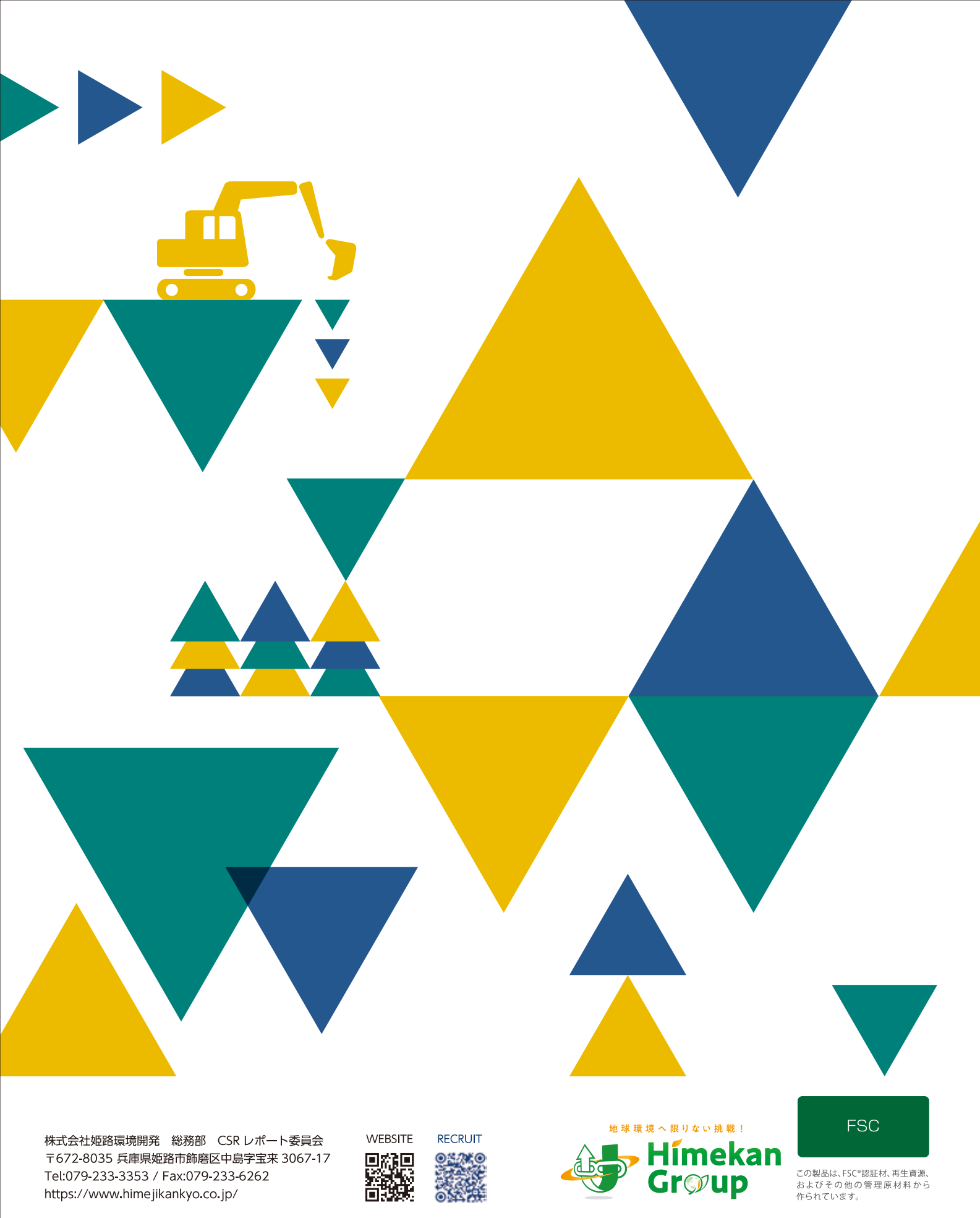




株式会社姫路環境開発 総務部 CSRレポート委員会
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来 3067-17
Tel:079-233-3353 / Fax:079-233-6262
<https://www.himejikankyo.co.jp/>

WEBSITE



RECRUIT



この製品は、FSC®認証材、再生資源、およびその他の管理原材料から作られています。

お問い合わせ

収集運搬、配車予約に関するご用件

Tel.079-233-3131

ご契約、お支払いに関するご用件

Tel.079-233-3353

CSR *Report*

2024 CORPORATE
SOCIAL
RESPONSIBILITY

資源循環を目指す「挑戦」



CSR Report 2024

CORPORATE
SOCIAL
RESPONSIBILITY

資源循環を目指す 「挑戦」

目次

- P01 目次/新ロゴマーク
- P03 メッセージ
- P05 新ユニフォーム / 事業継続から事業強靱化へ
- P07 ひめかんの事業フロー
- P09 ひめかんのリサイクル
- P11 事業紹介
- P13 収集・運搬
- P15 中間処理
- P17 解体工事・アスベスト処理
- P19 姫路環境開発が考えるESG
- P21 サステナブルな社会の実現に向けて
- P23 地域社会とコミュニケーション
- P25 事業強靱化を目指す取り組み
- P27 コンプライアンス、適正処理、労働環境改善、業務透明性の向上
- P29 マテリアルバランスに関する詳報 / 数字でみる姫路環境開発
- P31 産廃収集運搬許可エリア / 許可エリア及び許可品目
- P33 笑顔の輪、広がる。 / おまけ

新ロゴマーク

ロゴマークが リニューアル しました。

リニューアルの背景

当社は廃棄物処理業や地域活動といった様々な取り組みでリサイクル・環境美化に努めてきました。これまで以上に業務に携わる社員への思いやりを大切にしようという考えをもとに、従来のロゴマークをバージョンアップさせました。

新ロゴマークに 込めた想い

姫路環境開発は、2024年4月に企業ロゴを一新いたしました。従来のロゴに「輪」と「立体」を加えたデザインとなっており、「オレンジの輪」は、社員一人ひとりの絆を象徴し、私たち全員が一つのチームとして強く結ばれていることを表現しています。この輪は、一体感と深い繋がりを生み出し、共に未来へ進む力を感じさせます。さらに、ロゴに立体感を加えることで、スピードと躍動感を表現しました。これは、私たちの挑戦と成長が常に前進し続ける姿を映し出しています。私たち姫路環境開発は、これからの時代に求められる変革と成長に全力で取り組み、革新と責任を持って、地域社会と共に新たな時代を切り開いていきます。

ひめかんについて



地球環境へ限らない挑戦！ 株式会社 姫路環境開発

Uの矢印

限りある資源の有効利用を
目指してリサイクルを行うこと

緑色

美しい自然環境
総じて⇒循環型社会を形成する
姿勢を表している

∞マーク

社員が協力しあい、
リサイクルに取り組む力の輪

オレンジの輪=社員の輪

従業員同士のつながりを大切にしよう！

影=動き

自分たちに何ができるのかを考え取り組み、
失敗を恐れずにチャレンジしよう！



Himekan Group

地球環境へ限らない挑戦！

兵庫県姫路市に本社を構え、兵庫県を中心に建築・解体現場から排出される「産業廃棄物」の収集運搬・中間処理を主軸に姫路地域のイベント協賛や地域の方々との交流=CSR活動を積極的に行い、「ひめかん」の愛称で親しまれております。

代表メッセージ

2024年振り返り

2024年は、「質の良い会社」を目指し、社員一人ひとりの成長と組織全体の結束力を強化するため、**社内木鶏会**に取り組みました。社員が互いに学び合い、人間力を高めることで、信頼される企業文化を育てています。木鶏会を通じて、共感と感謝の心を育て、質の高いサービスの提供を実現いたしました。

また、**資源循環の実現**に向けた取り組みとして、**選別機械設備の導入計画**を進めました。廃棄物を「資源」として捉え、より高度な選別と再資源化を行うことで、**原料供給企業**への進化を目指しています。これにより、リサイクル原料の安定供給と環境負荷の低減を実現し、循環型社会の構築に貢献して参ります。

当社は、**DX（デジタルトランスフォーメーション）**にも注力し、過去4年にわたり業務の効率化とデータ活用的高度化を推進してきました。特に、業務プロセスの自動化やリアルタイムのデータ分析を通じて、経営の迅速な意思決定を可能にしました。当社は今後もDXをより加速させ、顧客満足度の向上と生産性の向上を目指し、強い意志で取り組んで参ります。

さらに、情報化社会における**危機管理とセキュリティ対策**の強化に取り組みました。情報セキュリティマネジメントシステムの導入により、データの保護とサイバー攻撃のリスク軽減を図っています。また、**BCP（事業継続計画）**を策定や、レジリエンスへの取り組みにより、自然災害や緊急事態に対する迅速な対応体制を構築いたしました。

「安全は全てに最優先」という基本方針のもと、労働安全衛生の強化に努め、社員の安全と健康を守る環境づくりを徹底しています。これからも、**社員の安心・安全を守り**、働きがいのある職場環境を提供して参ります。

経営理念

安心・安全・適正な総合リサイクルセンターを目指し、社員全員が参加し、自らが学習し、価値観の共有化ができる組織。

限りない資源を生み出す企業として、時代に合った顧客のニーズに対応するためのシステム。

人材育成が企業を育て、社員が満足して仕事のできるシステム。

廃棄物を通じて、社会に必要とされる企業を創る。

代表取締役
梅崎 晃平



2025年展望

2025年、当社は「**資源循環への挑戦！**」をテーマに、更なる成長と進化を目指します。廃棄物を「資源」として捉え、選別機械設備を活用した高度な再資源化を推進し、リサイクル原料の安定供給を実現することで、**原料供給企業**への進化を図ります。これにより、循環型社会への貢献と環境負荷の低減を両立させて参ります。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の一環として、当社独自の「**ひめかんクラウドシステム**」と「**キントーンプラットフォーム**」を連携させ、業務プロセスの効率化と情報共有の迅速化を図ります。これにより、現場のデータをリアルタイムに可視化し、迅速な意思決定を支える強固なデジタル基盤のさらなる構築を目指します。

また、**SBT（ScienceBasedTargets）認証**の取得を通じて、CO₂排出削減に向けた具体的な目標を設定し、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速させて参ります。これにより、地球温暖化対策を推進し、持続可能な未来に貢献して参ります。

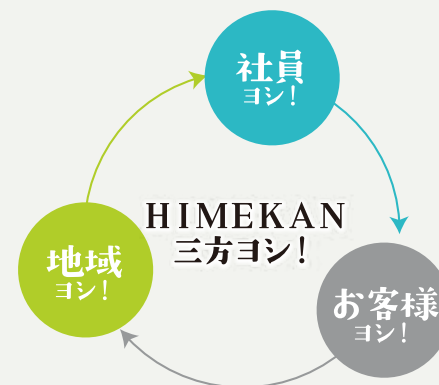
人材育成においては、次世代を担う**若手社員の育成と後継者の育成**を最優先課題として取り組みます。若手社員が主体的に成長できる環境を整え、リーダーシップ研修やキャリア支援プログラムを充実させます。加えて、経験豊富な社員からの知識の継承を促進し、組織の持続的な成長を支えて参ります。

さらに、社員一人ひとりが健康で活力に満ちた職場環境を実現するため、「**健康経営**」をより推進します。定期的な健康診断の充実やメンタルヘルスケアの強化、ワークライフバランスの向上に取り組み、社員の幸福度を高めて参ります。2025年もこれらの取り組みを通じて、「**質の良い会社**」としての価値をさらに高め、パーパス経営を軸に、社会から信頼される企業を目指して参ります。

皆様には引き続きのご支援とご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

社訓

安全 安全第一些時を怠るな
正直 自分に正直に生きよ
誠実 他人に誠実に応えよ
謙虚 何事にも謙虚に振る舞え



HIMEKAN三方ヨシ!

HIMEKAN三方ヨシ!の精神で社員ヨシ!、お客様ヨシ!、地域ヨシ!の三方向から「いい会社」の実現を目指しています。まず社員に満足いく働きやすい環境を提供することで、お客様には信頼されるサービスを、そして地域には不可欠な存在として貢献し続けることができると考えています。この目標に向かって一歩ずつ前進していきます。

39期社員の目指すテーマ

39期社員の目指すテーマは前期テーマからさらにブラッシュアップした3つのテーマとなっております。

1つ目の「**安全第一！社員の笑顔**」は安全な職場を目指すからこそ職場の雰囲気をも明るく保つことが大事。

2つ目の「**自ら学ぼう**」は木鶏会を通じて学びを継続しながら、個人が自分の分野における新たな学びも実践してレベルアップして欲しい。

3つ目の「**資源への第一歩**」は廃棄物を分別・リサイクルすることで資源となり、今後の未来は資源へどれだけ変えられるかを会社全体で意識して行動して欲しい。

これらの3つのテーマを胸に、「**一人ひとりが主人公意識をもって前向きに成長していこう**」という思いが込められています。

39期の テーマ発表

- 安全第一！社員の笑顔
- 自ら学ぼう
- 資源への第一歩

ひめかんの目指す姿

2030年の循環型社会の実現に向けた取り組み

廃棄物を「未来の資源」と捉え、持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指します。

2030年までに、再資源化率を向上させ、温室効果ガスの排出抑制を推進します。

廃棄物の排出量管理～収集運搬・中間処理・再資源化のプロセスを統合し、循環経済の実現を目指します。



【2025～2026年】 基盤とインフラの整備

- 既設備の高度化と技術検証による処理能力の強化
- 廃棄物の分別強化、高品質な再生原料の供給
- 法規制対応による自治体との連携強化
- 省エネ化・省力化による持続可能な脱炭素経営

【2027～2028年】 事業拡大と投資戦略

- 高付加価値リサイクルに向けた技術検証
- プラスチック・電子機器類・LIBなどの新市場における高度再資源化
- 排出～処理までのトレーサビリティ強化と中間処理の分別精度と効率化
- ESG経営の高度化、社会的責任とガバナンスの強化

【2029～2030年】 事業再編と資源循環の実現に向けた 持続可能な循環型事業経営

- 広域認定の取得や産業クラスターとの連携、新たな商圏への進出
- 地域間資源循環ネットワークの構築、持続可能な資源循環モデルの確立
- M&Aやジョイントベンチャーの活用、リサイクル事業の多角化
- 従来の事業形態から「循環経済を担う複合産業」への進化、ブランドの強化

01

さらなる一体感の創出へ

新ユニフォーム

ユニフォームとヘルメットがこのたび一新されました！
ユニフォームは紺色をベースカラーに姫路環境開発のコーポレートカラーである緑色とオレンジ色を含めて作成しました。
ヘルメットはユニフォームとの色のバランスを加味して、ベースカラーに白色を採用し、明るく誠実なイメージでこちらもコーポレートカラーを含めて作成しました。

■ヘルメット

新ロゴマーク
コーポレートカラーで
虹をイメージ



■ユニフォーム

スタイリッシュな
スタンドカラー
ファスナーポケット
スライダー隠し付き
名札
前たて
ファスナー
脇ポケット
膝ダーツ入り
ロゴマーク刺繍
フラップ付き
ポケット
安全第一
ワッペン
袖、胸ベン差し
ポケット
大見返し
内ポケット
隠しファスナー
ポケット



ユニフォーム 作成会社に インタビュー

HARADA株式会社
藪上 昌昭 氏



社員総会で、梅崎社長とともに新ユニフォームを着用して壇上に立つという、忘れられない瞬間をいただきました。壇上から見た社員の皆様の笑顔、そして梅崎社長やプロジェクトチームの皆様からいただいた「ありがとう」という感謝の言葉。その一つ一つに、このユニフォームに込められた熱い想いと未来への力強い意思を深く感じました。この一着が、皆様の活躍を支え、共に歩いていく存在であることを願っています。

ロゴマーク刺繍



腕の可動を広げる
アクションブリーツ

アジャストカフス
隠しドットボタン

反射バイピング

従業員からの声



Iさん

現場での作業をしてみて、とても快適で動きやすくなりました。全身のいたるところであしらわれている伸びるストレッチ生地がとても気に入っています。特に腰の内側のゴムがしっかりしていて、動いてもシャツが出てこないところがいいです。

02

災害時処理特集

事業継続から事業強靱化へ

社会的インフラとしての使命を果たす、事業強靱化への取り組み

～災害対応力を強化し、即応力・復旧力を兼ね備えた組織へ～

南海トラフ巨大地震が発生した際の災害廃棄物は3億2千万トン発生すると予測されています。

(環境省_災害廃棄物等の発生量の推計_【南海トラフ】災害廃棄物等の発生量の推計結果)その処理には莫大な費用と膨大な人員が必要となり、広範囲にわたるため、各自治体だけでなく、市民や企業にも大きな負担がかかることが懸念されます。こうした状況に備え、私たち姫路環境開発は、姫路市と災害廃棄物処理協定を締結し、迅速かつ適正な処理体制の構築に向けて大きな一歩を踏み出しました。今後も、企業単体での対応にとどまらず、地域全体が一体となって災害時の対応力を強化し、レジリエンスの向上を目指していきます。

災害廃棄物の処理には、適切に管理された仮置場の確保が不可欠です。行政の支援と静脈産業を担う私たちのノウハウを組み合わせることで、より円滑な処理が可能になります。災害時には、社会インフラの一翼を担う企業として、その責務を果たせるよう、行政と連携しながら対応にあたっていきます。今回の協定締結は、その協力関係を深めるための第一歩だと捉えています。今後も、地域とともに、強靱な防災・減災体制の構築を進めていきます。

ひめかんが考える、 自治体との連携強化

- ▷災害廃棄物処理における仮置場の適正化
- ▷自治体との連絡網の確立と役割分担の明確化
- ▷リアルな被害想定による実践的な初動対応シナリオ確立
- ▷自治体や地域間の防災協定との連携を想定した包括的な対応力・復旧力の強化

1. 災害時組織体制と指揮命令系統

災害時には、迅速な意思決定と適切な指揮命令が求められます。※BCP訓練(p26参照)

- 迅速な意思決定と適切な指揮命令
- トップダウン型中央管理の指示+現場の柔軟な判断の支援と「統制と自律」のバランス感覚
- 指揮命令系統の明確化、現場の判断権限の設定、スムーズな初動対応
- 指揮命令系統の定期的な訓練によるリーダー層の迅速かつ適切な判断状況を整える
- 定期的な訓練と実践シナリオの見直しによる、状況変化に即応できる組織体制の構築



2. 災害廃棄物処理と法規制への対応



- 大量の災害廃棄物の発生を想定した、事前の準備と計画
- 自治体や業界団体と連携した処理フローの明確化や仮置き場の確保
- 災害時の混乱、環境負荷を想定してESG経営の視点を取り入れる。
- 被害を最小限に抑える循環型防災モデルの構築
- 適正な処理体制の構築とともに、企業としての社会的責任を果たす。

3. 姫路市との「災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」

当社は2024年10月1日より姫路市と「災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」を締結しました。

- 地域の防災力を高める 自治体と企業が連携し、災害発生時の即応体制を整備
- 「災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」による官民連携の防災モデル確立
- 本協定を通じた地域全体の防災力向上に貢献する取り組みを推進
- 災害発生時の廃棄物処理の迅速化、優先ルートの確保、リソース共有で復旧プロセスを構築する



資源の有効利用を目指す ひめかんの 事業フロー

当社を含めたHIMEKAN GROUPはリサイクルに重点を置く事業を展開しております。

お客様から排出された廃棄物を各工場で適切に中間処理し、再生資源・再生燃料へと変えたうえでメーカーへ搬出します。それらを使用した製品がメーカーによって作られ、お客様のもとへ還元されます。

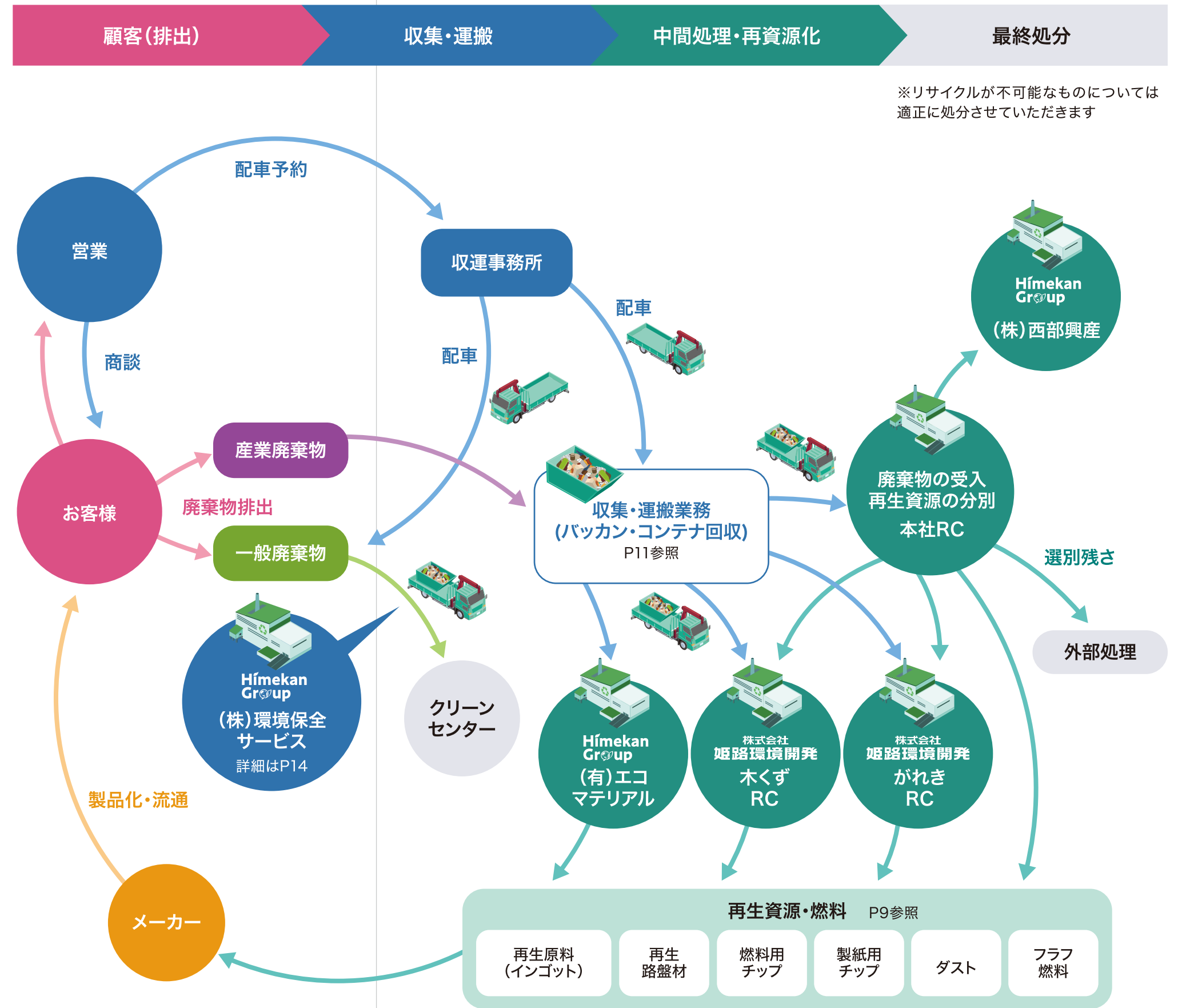
廃棄物を捨てるためではなく、新たに生まれ変わるための手助けをすることが使命です。



HIMEKAN HOLDINGS 株式会社HIMEKANホールディングス

株式会社
姫路環境開発

本社事務所	本社RC	がれきRC	収運事務所 (配車センター)
真砂営業所	木くずRC	資源RC	大津工場



RC=リサイクルセンター

製品化・流通

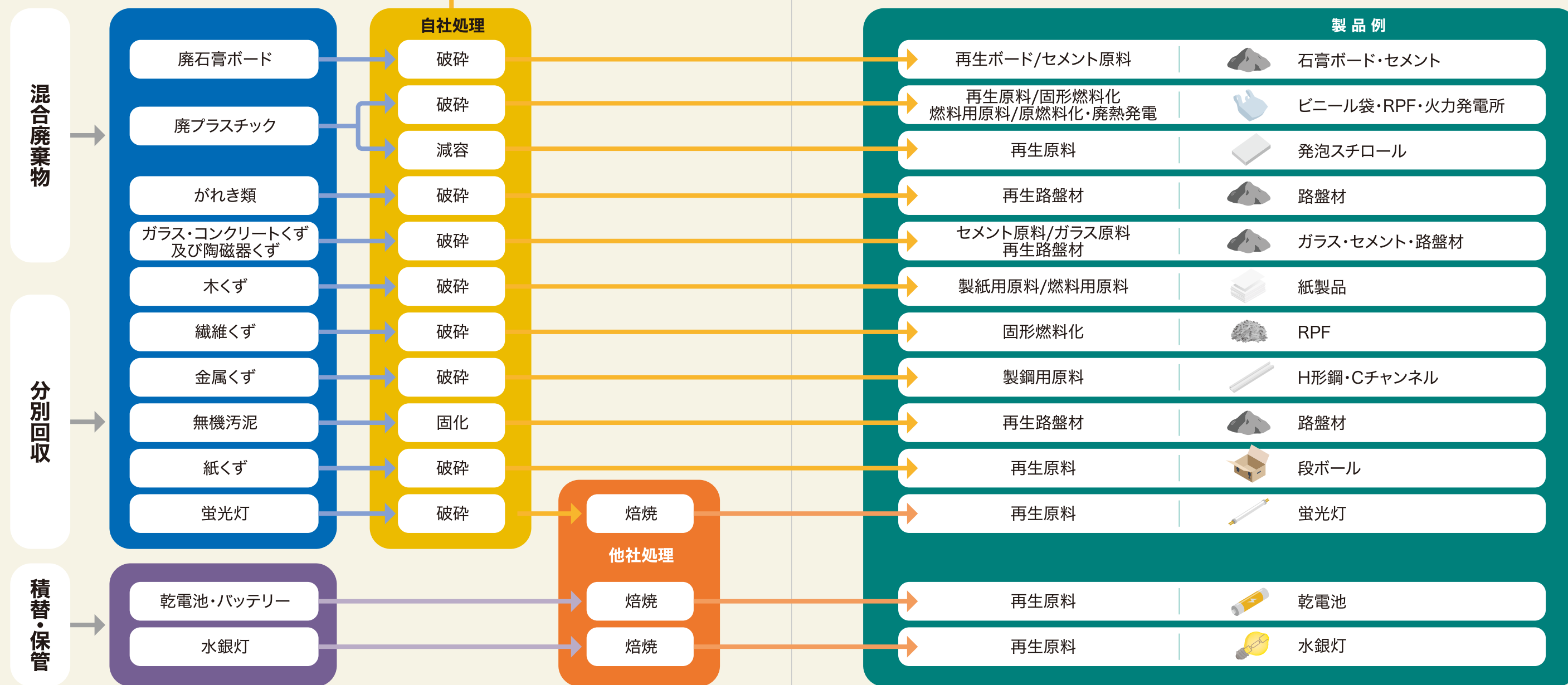
メーカー

資源の有効利用を目指す ひめかんの リサイクル

資源循環を促進するために

中間処理業者である当社は、廃棄物を最終処分する前に徹底した選別のうえ品目ごとに適切な処理を行い、資源として再利用可能な状態にする役割を担っています。
混合廃棄物は品目ごとに分けることで、リサイクルが可能になるものが多いです。そのうえでリサイクル不可能なものについては適正に外部処理または最終処分させていただきます。

株式会社
姫路環境開発 中間処理工場



2024年の総受入量
全体の受入量 **225,626.3t**

2024年の
リサイクル率
71.7%

2025年
リサイクル率
目標
75%



建設汚泥
建設廃棄物



紙くず
ダンボール、クラフト紙



廃プラスチック
硬質・軟質発泡スチロール



ガラス・陶磁器くず
保温材、瓦、レンガ、ガラス・蛍光灯、石膏ボード



がれき
コンクリート、アスファルトがら



ゴムくず
原料が天然ゴム



金属くず
鉄くず、アルミくず、ステンレスくず



木くず
ベニヤ板、木製パレット



繊維くず
畳など

事業紹介

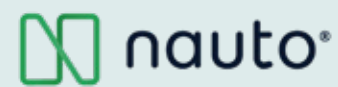
産業廃棄物・一般廃棄物・特殊な廃棄物のリサイクルをはじめ、多くの事業を展開しておりますが、ただ業務を遂行するだけでなく環境保全を強く意識しております。

「地球環境へ限らない挑戦！」をスローガンに、産業廃棄物処分業務を通して環境負荷を低減し、美しい地球を次の世代に引き継ぎます。



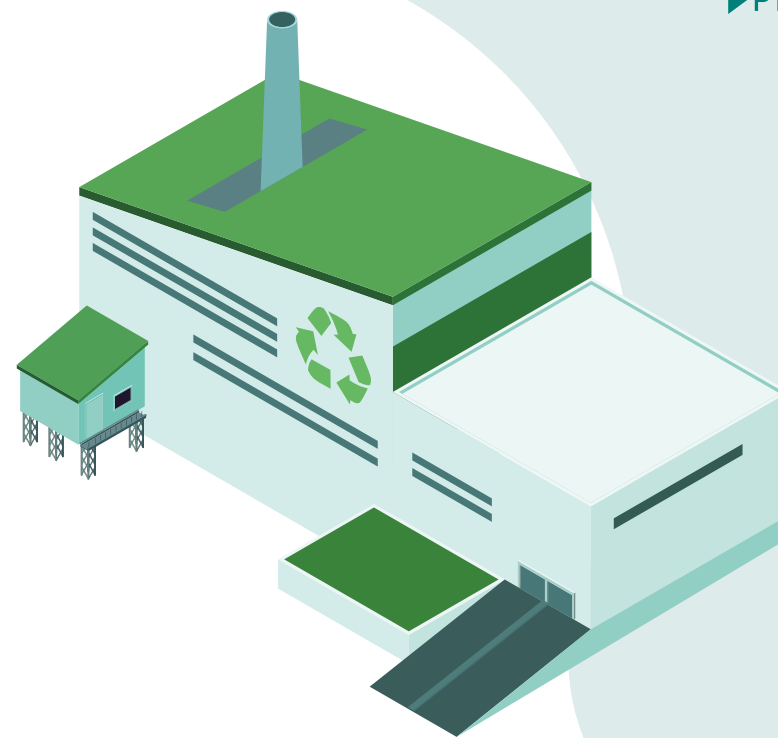
▶P13 収集・運搬

- 1 収集運搬容器の設置・配車
- 2 収集運搬容器の入替or撤去
- 3 運搬作業



保有車両

DXEシステム



▶P15 中間処理

- 1 受付・計量
- 2 荷下ろし
- 3 展開検査・選別
- 4 再資源化处理

主要RC紹介

- ・ 本社リサイクルセンター
- ・ がれきリサイクルセンター
- ・ 木屑リサイクルセンター



▶P17 解体工事・アスベスト処理

- 1 お問い合わせ
- 2 お見積
- 3 事前準備
- 4 解体作業
- 5 適正処分

解体工事件数



収集・運搬

お客様のもとへ姫路環境開発のトラック車両が伺います。廃棄物収集運搬容器（バクカン・コンテナ）を貸し出し、容器がいっぱいになれば回収または撤去させていただきます。DXEシステムやNAUTOの活用によって業務効率化と安全性の向上に力を入れ、豊富な車両台数によるフットワークの軽さで姫路エリアを中心に幅広く対応しております。

1 収集運搬容器の設置・配車

お客様に収集運搬容器（バクカン・コンテナなど）を貸し出し、廃棄物を集めていただきます。お客様より容器交換・撤去依頼のお電話があり次第、最短翌日配車し対応いたします。



2 収集運搬容器の入替or撤去

廃棄物でいっぱいになった収集運搬容器を新しいものに入替or撤去します。安全第一かつ迅速に作業をさせていただきます。



3 運搬作業

委託契約に基づき、適切な工場へ運搬します。

バクカンにはネット、コンテナにはシートを被せることで運搬中での廃棄物の飛散・落下を防止します。



AI搭載型ドライブレコーダー「NAUTO」の導入で事務所から全ドライバーの位置情報や速度の確認、居眠り運転・わき見運転検知機能により、管理者の情報把握も素早く、ドライバーも安心して作業できます。



保有車両 低炭素型ディーゼルトラック20台、車両合計61台

低炭素型ディーゼルトラックを導入し、環境への配慮と安全性を追求とサービス向上に努めます。



収集運搬容器

	舟形バクカン	中型コンテナ	大型コンテナ	分別カート
奥行	2,000mm	3,600mm	5,900mm	1,130mm
幅	1,500mm	1,900mm	2,300mm	1,130mm
高さ	1,100mm	1,000mm	1,800mm	1,100mm
重さ	380kg	1,000kg	3,000kg	250kg
容積	3㎡	7㎡	25㎡	1㎡

収集運搬車両

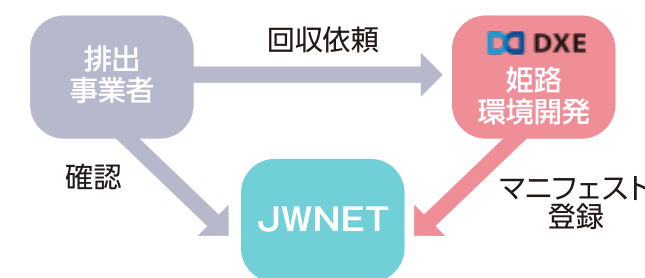
	3t ショート	3台	4t	6台
ユニック車	3t ロング	7台	6t	5台
	4t ロング	7台	8t	3台
	6t	5台	10t	7台
	8t	5台	8t	1台
ダンプ車	3t	4台	10t	1台
	10t	7台	ダンプ車	4t

搬出専用車両

セミトレーラー	23t	1台
フルトレーラー	17t	1台
深ダンプ車	10t	3台

DXEシステム kintone × DXE

DXEとは、電子マニフェスト（JWNET）と連携することで、産業廃棄物の排出から処理まで、一連の業務プロセスをデジタル管理するシステムです。業界の最先端を目指す企業として、デジタル化が難しい産業廃棄物業界においても取り組みを進めています。



《電子マニフェストの導入メリット》

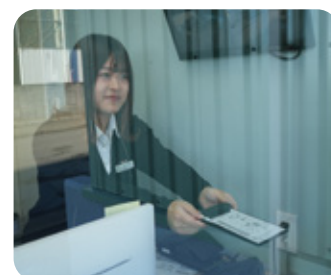
- 作業の効率化** マニフェストが電子上で保存されているため、長期保管やファイリングの手間がなくなります。
- 行政報告が不要** 電子マニフェスト利用分は自動で行政報告されます。
- 法令の遵守** マニフェストの必須項目をシステムで管理しているため、入力漏れや紛失の心配がありません。

中間処理

産業廃棄物（主に建築・解体現場などの事業活動によって生じた廃棄物）を種類別に分別し、リサイクル可能なものと最終処分が必要なものに振り分けます。振り分け後にそれぞれ破碎処理などをして体積を減らし、輸送コスト・処分を効率化します。廃棄物は正しく排出され正しく処理されれば、再生資源として利用できます。現在、循環型社会の実現に向けて、効率的な資源回収と再生資源の有効活用に向けた新たなリサイクルシステムを構築するため、より良い資源をより多く社会に還元していく計画を検討中です。

1 受付・計量

品目別の各RCで受付（マニフェスト確認）とトラックスケールで計量します。



2 荷下ろし

廃棄物の性状・形状に合わせて指定場所で荷下ろしします。



3 展開検査・選別

混合廃棄物は重機で展開検査と粗選別をし、熟練された作業員数名によって細かく選別作業を行います。



4 再資源化処理

一連の工程で品目ごとに選別された廃棄物を再生素材やエネルギー資源としてメーカーに搬出するために品質基準に従って、破碎・減容・固化などの機械処理を行います。



主要RC紹介

本社リサイクルセンター

姫路環境開発のメイン工場です。お客様から回収・持ち込みされた混合廃棄物を選別し、リサイクル・適正処理します。埃や熱中症対策として天井からミストを散布し、複数箇所に火災報知機や監視カメラを設置し安全管理も徹底しております。



がれきリサイクルセンター

残土やがれき類(ガラス・陶磁器屑、アスガラ・コンガラなど)を受け入れ、リサイクル・適正処理する工場です。機械によって破碎処理を行い、ライン選別をメインで行うと同時に作業員による細かな手選別もします。アスガラ・コンガラは破碎処理をして、再生路盤材としてリサイクルし、販売も行っております。

木くずリサイクルセンター

木くず・伐採材・畳などを受け入れ破碎処理を行い、リサイクル・適正処理する工場です。ダスト（おがくず）は油や水分の吸収・吸着に用いられ、燃料用チップはボイラー補助燃料、製紙チップは段ボールにリサイクルされます。施設内に新しくトラックスケールを設置しましたので、お持ち込みの際は直接お越しいただき計量・荷下ろしができます。（p28参照）



解体工事・アスベスト処理

ビル・一軒家・木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造などを問わず幅広く解体工事を承っております。

見積から処分まで一貫して行うワンストップサービスを強みとしており、工程によってそれぞれ別の会社に依頼する必要がありません。
アスベスト調査と処理も対応可能です。

建物の実物確認をして
解体工事費・収集運搬費・処分費を
明確に算出いたします

- ・工期や工法選定
- ・廃棄物処理の計画なども含め見積
- ・アスベスト調査など



合意・承諾

1 お問い合わせ

ヒアリング

お客様から解体依頼のご相談がきます



2 お見積

解体作業を行うための
各種手続きを行います

- ・工事請負契約の締結
- ・下請け業者との契約締結
- ・各種行政手続き
- ・事前措置の実施
- ・近隣住民の方への挨拶



3 事前準備

4 解体作業

振動・騒音対策をしつつ、
安全第一で作業をさせていただきます

- ・工事管理(標識の掲示、工事計画の確認)
- ・安全管理
- ・準備作業、仮設備
- ・解体作業
- ・整地



5 適正処分

解体作業において
排出される廃棄物を
現場分別しつつ適正処分します

- ・処理委託契約の締結
- ・廃棄物は品目ごとに分別
- ・産業廃棄物管理票(マニフェスト伝票)



解体工事件数

2024年

65件

アスベスト
処理実績
約4,000㎡

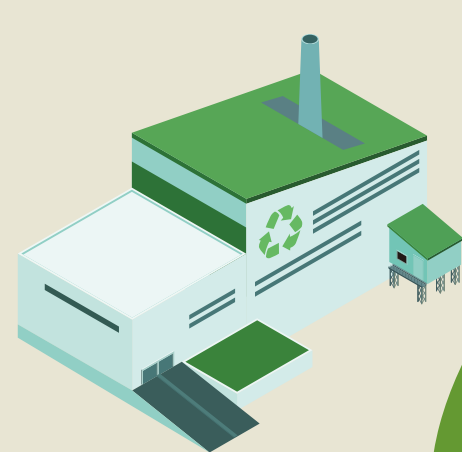


姫路環境開発が考える ESG

ESG | E=環境 【企業が人々やコミュニティに与える影響】

P21 サステナブルな社会の実現に向けて

- リトレッドタイヤ
- ポジティブ・インパクトファイナンス(PIF)契約
- 営業車のハイブリッド自動車・水素自動車の使用推進
- 定期的な車両入替
- クラウド推進による紙の削減
- 家庭リサイクル
- 広域清掃
- マテリアルバランス



ESGとは、企業が長期的かつ持続可能な企業成長を遂げるために「Environment(環境)」「Social(社会)」「Governance(企業統治)」の3要素を重要視する考え方です。

姫路環境開発は、ESGを重視した経営を実践し、社会・環境課題の解決と地域社会の発展に向けて貢献していきます。

ESG G=ガバナンス 【企業組織の運営と管理に関する要因】

P25 事業強靱化を目指す取り組み

～統制と自律を両立し、持続可能な危機管理体制を構築する～

- リスク管理と事業への影響度の評価
- 事業継続戦略と対策
- 災害時の初動対応と災害対策本部設置訓練
- マニュアルの更新と社内啓発活動



P27 コンプライアンス、適正処理、労働環境改善、業務透明性の向上



ESG



ESG | S=社会 【企業が人々（社員も含む）やコミュニティに与える影響】

P23 地域社会とコミュニケーション

- 主なイベント
- 寄付活動
- スポンサー（バレー、ボクシング）
- 健康への取り組み
- 会社イベント

サステナブルな社会の実現に向けて



リトレッドタイヤ

ブリヂストンタイヤ様とリトレッドタイヤの契約を結びました。一次寿命が終了したタイヤのトレッドゴム（路面と接する部分のゴム）を削り、新しいゴムを貼り付けて再利用します。資源使用量を低減し、CO₂排出量の削減も可能となっております。現状は摩耗したタイヤをリトレッドタイヤ製品工場へ輸送している段階です。



営業車のハイブリッド自動車・水素自動車の使用推進

地球環境によりよい事業を展開する企業として、営業車のほとんどをハイブリッド自動車と水素自動車の使用をしています。

クラウド推進による紙の削減

会議資料や作業指示書、紙manifestoといった紙の使用量を減らすため、会議を行う従業員にはノートPCを支給し、ドライバーにはタブレットを支給、顧客への電子manifesto移行&優先利用の提案をしています。



▲これまでの紙資料

電子manifestoへ移行▶



ポジティブ・インパクトファイナンス(PIF)契約

山陰合同銀行様初のポジティブ・インパクト・ファイナンス(PIF)契約を締結しました。姫路環境開発の達成目標である、①リサイクル率の向上 ②最終処分量の低減 ③労働環境改善が社会にポジティブな影響を増大させ、ネガティブな影響の低減に寄与するとして、評価していただいたことで実現しました。



定期的な車両入替

収集運搬車両を筆頭に事業活動で使用する社用車は定期的に新しくしております。収集運搬車両の全体のうち9割が平成27年度燃費基準達成車となっております。環境に配慮したクリーンな車両でお客様のもとへ伺わせていただきます。



家庭リサイクル

従業員の家庭から出たリサイクル可能なごみ(ペットボトル・ペットボトルキャップ・アルミ缶・スチール缶)を専用ボックスで回収しています。それらの売却益は社会貢献活動や社内イベントに使われます。



広域清掃

地域の環境美化への取り組みとして本社周辺地域の清掃活動を毎月行っています。活動は2005年から始まり、今年の12月で199回目を迎えました。今年から清掃範囲を拡大したり、地域の学生様とコラボレーションしたりと活動の幅も広がっています。



マテリアルバランス

事業活動に伴い発生する環境負荷の全体像を把握・分析し、低減化に努めています。



地域社会とコミュニケーション

主なイベント

広域清掃体験 with 淳心学院 (1/27)



バレンタインチョコを お客様に配布 (2/14)



姫路城 花の植え替え (6/14&11/12)



丹頂ガス様 会社訪問 (6/18.24)



琴丘高校 総合的な 探求の時間



灘のけんか祭り 片付け 株式会社環境保全サービス (10/14.16)



姫路市で有名なお祭り「灘のけんか祭り」の片付けにはグループ会社の㈱環境保全サービスが毎年携わっています。祭りで使った道具や飲み終わった缶・ペットボトルなどはしっかりと分別したうえで各工場へと運ばれます。

賢明 女子学院 井論大会 「松浦杯」 (9/28)



さつま いも掘り 体験 (10/18.30)

寄付活動

コミュニティ 食堂さら様 さつまいも寄付



能登半島 地震義援金 (2/2)



荒川小学校 アコーディオン贈呈 (2/19)



フードドライブ

従業員の家庭で余った食料品・生活品を集め、生活に困っている方々を支援されているNPO法人フードバンクはりま様に寄付を行っています。

2024年
69
kg



ペットボトルキャップ回収 →ワクチン寄付

団体・企業様からペットボトルキャップを回収し、その売却益をワクチン購入の資金として「認定NPO法人JCV世界の子どもにワクチンを 日本委員会」へ全額寄付しております。



スポンサー(バレー、ボクシング)

大橋哲朗選手



ヴィクトリーナ姫路

姫路市を拠点に活躍している女子プロバレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」のエリアスポンサーとして支援させていただいております。ヴィクトリーナ・ウイंक体育館での試合時には横断幕も掲げられており、実際の試合観戦チケットも社員へ配布しています。



健康への取り組み

健康診断・3大疾病サポート保険・養老保険

事務所への出張健康診断を毎年1月に実施し、3大疾病(がん・急性心筋梗塞・脳卒中)や上皮内がん等の罹患時のサポート、万が一の死亡保険金や退職時(保険満期時)の保険金制度も整えております。



健康経営優良法人

経済産業省が毎年認定を行っている制度で「健康経営」を推進している中小規模法人として今年も当社は認定を受けております。



同好会

従業員の方々が日々を健康で過ごせるようにと、運動の機会を設ける取り組みとして活動しております。それぞれ希望者がいましたら入会することができます。どちらも2か月に1回活動しており、ゴルフ参加費用は通常より割安・ダンスはスタジオを借りてプロダンサーのレッスンを受けることができます。初心者大歓迎で、無理なく楽しく実施しております。



会社イベント

HIMEKAN感謝フェスティバル(7/14)



「社員だけでなく、ご家族の皆様にも楽しんでもらえるイベント」をテーマに開催されました。おいしい料理に加えて縁日・大道芸・ビンゴ大会・プロダンサーによるパフォーマンスなどといった様々なコンテンツを楽しんでいただきました。

恵方巻 プレゼント (2/2)



木鶏会 in じばさんビル (3/23)



フレッシュオール スターズ2024(7/20)



まねき えきそば プレゼント (12/28)



38期社員総会 (3/23)



忘年会 (12/7)



クリスマスケーキ プレゼント (12/25)



事業強靱化を目指す取り組み

～統制と自律を両立し、持続可能な危機管理体制を構築する～

1

リスク管理と事業への影響度の評価

▷2024年は、リスクに対して幹部などを中心とした参加者で危機管理をテーマとしたグループワークを初開催しました。

▷2025年は、グループワークによる危機管理意識の向上を図りながら、事業におけるリスクアセスメントを実施していきます。企業の持続可能性を確保するために、事業に影響を与えるリスクを各部署で独自に計画を作成し、年間の活動を翌年2月に評価します。

今後は、目標に対する影響範囲を明確化し、リスクアセスメントを高度化した事業影響度分析から、業務の重要性や優先度を明確にします。ファクトやデータに基づいたリスク評価で、災害対応・市場変動・サプライチェーンリスクなどの影響を事前に可視化していきます。経営層と現場の判断基準を統一し、適切なリスク管理フレームワークを構築することで、企業のレジリエンスを向上させます。

- ▶リスク評価による事業強靱化
- ▶ファクトやデータに基づいたリアルタイムのリスク管理
- ▶経営層と現場の意思決定の最適化

リスク管理フロー

リスク対応計画の作成

リスクに対する目標の設定

目標達成基準の設定(評価指標と結果指標)

事業計画、経営戦略にフィードバック

2

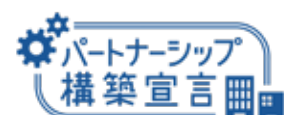
事業継続戦略と対策

企業の事業継続戦略は、単なる復旧計画にとどまらず、次なる危機に耐えうる「事業強靱化」の視点を持つべきです。現在、ひめかんが掲げる事業継続戦略は、以下の5つです。

今後、DX化による業務の遠隔化や広域化、クラウド基盤の活用、バックアップ拠点の整備などにより、即応性と復旧力を強化することが求められます。

特に、サプライチェーンの強靱化は不可欠であり、複数の供給ルートの確保、収集運搬の代替手段整備、在庫管理のクラウドデータ化を通じて、災害発生時の事業影響を最小化します。

- ▶「事業継続」から「事業強靱化」へ
- ▶DXを活用したBCPの最適化
- ▶サプライチェーンの強靱化



取得のメリット

- ・取引先との関係強化の土台として活用するため
- ・今後流動的な働き方改革に企業として対応していくため

ひめかん事業継続戦略

廃棄物処理および受入、引取業務の継続

処理業拠点や解体現場の情報収集能力の継続

支払能力の継続

情報公開の継続

各種協定の締結内容の遂行

3

災害時の初動対応と災害対策本部設置訓練

▷2024年は、総合防災訓練を2回、安否確認訓練を3回実施しました。

▶「即応力」と「復旧力」を高める、実践型の初動対応

災害発生時の対応は、初動の迅速性が事業継続の鍵を握ります。事前に明確な指揮命令系統を確立し、発生直後の行動計画を周知して、従業員の的確な対応を促していきます。

▶統制と自律を両立した初動対応

災害対策本部の設置訓練を通じて、指示系統の実効性を確認し、運用上の課題を洗い出していきます。

▶BCP訓練の拡大、シナリオ型訓練の導入

机上の計画にとどまらず、シナリオ訓練を実施し、指揮系統の可視化と現場リーダーの自律的な判断力向上を図り、災害対応能力を強化していきます。また、BCP訓練の実施結果を組織全体でフィードバックすることで、組織の即応力を高めていきます。



4

マニュアルの更新と社内啓発活動

▷2024年は、BCPマニュアルの更新を1回、社内啓発活動を7月～12月で計6回実施しました。

▷2025年は、マニュアル改訂の2回以上実施率、デジタルマニュアル閲覧数・更新頻度の向上を目指します。

▶「使えるBCPマニュアル」への進化

▶社員のリスク意識を向上させる啓発活動

▶BCP浸透のための組織文化の醸成



月に1回の頻度でBCP勉強会を開き、兵庫県や姫路市での災害時の対策や当社の災害時の動きなどを学習、情報共有しております。

BCPを構成する要素

基本計画 = 判断基準

危機管理計画 = 分析指標

緊急時対応計画 = 対応手順

事業復旧計画 = 復旧資源確保

2024年の総括と今後の取り組みについて

この4つの領域を強化することで「事業継続」から、レジリエンス経営による「事業強靱化」へと進化していきます。

2024年は、BCPの更新にとどまらず、危機管理の取り組みが経営戦略の柱として強化された重要な年となりました。

危機管理グループワークの実施や姫路市との協定締結、脱炭素・循環経済社会の実現に向けた施策など、事業の持続可能性を高める取り組みが多く展開されました。2025年からは、これらの取り組みを統合し、経営戦略として選択と集中による経営体制の強化とリスクマネジメント体制の強化を進めます。この取り組みは、10年先を見据えた持続可能な企業経営を実現することを目指すとともに、社会的インフラとしての使命を果たすための取り組みです。



コンプライアンス、適正処理、労働環境改善、業務透明性の向上

ひめかんカレー



防災備蓄品として、ひめかんスマイリーくんをパッケージにデザインされた「ひめかんカレー」を作りました。保存期間は5年であたためなくても食べられるものになっております。

DX推進



基幹システムのkintone移行を進め、データ活用基盤を整備しています。また、営業DXとして営業活動の見える化の取り組みを進めています。DXを通じて顧客体験の向上と業務効率化を目指します。

外部コメント

DX新メンバー
伊藤 勇樹さん



DX推進の3人目メンバーとして参画しました。営業DXを中心に、営業の方のお仕事をより楽にして、より営業の成績に向き合う時間の創出ができるように、ユーザーに向き合ったアプリの提供で貢献していきたいです。

セキュリティ対策

月1回のセキュリティ動画視聴及びアンケート実施、パスワード強化を進め、ITリテラシーの向上を図り、2024年度はSECURITY ACTION 一つ星を宣言しました。

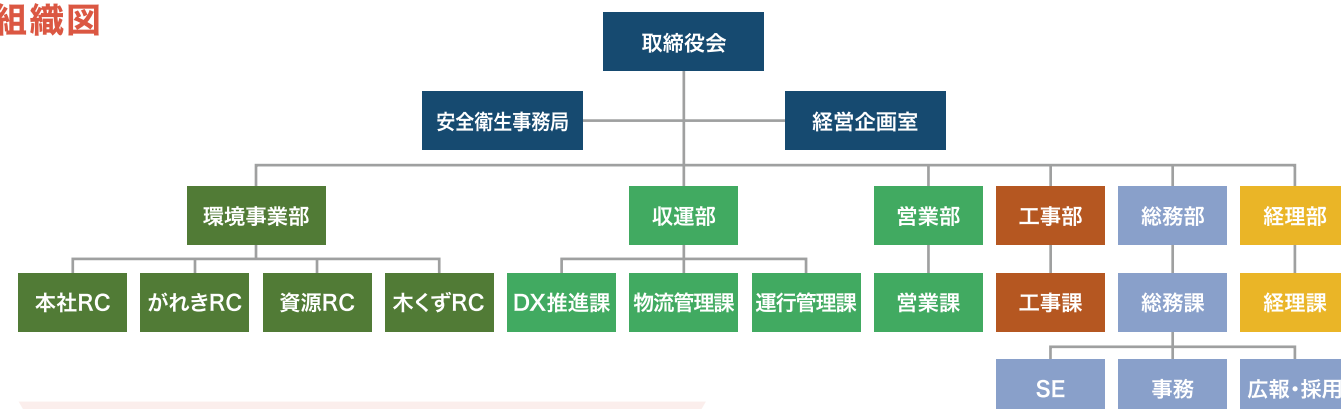


ISO14001

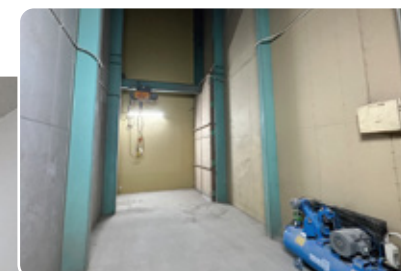
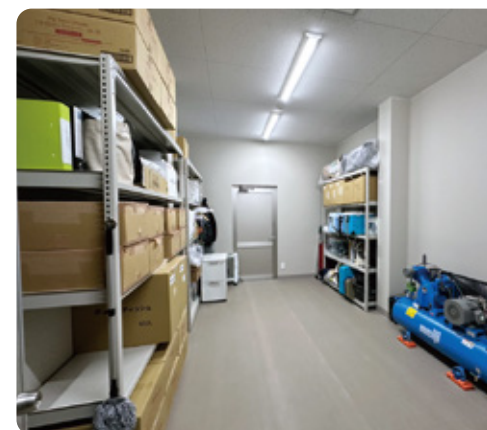


2000年より環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認定を取得し、それ以降も継続して更新し続けております。組織の環境経営方針が適切であり、環境法関連を遵守できているか、環境負荷を軽減できているか「確認・改善の機会」として使命感を持って取り組んでいます。

組織図



防災備蓄倉庫 完成



▲Before

◀After

BCPの一環で本社事務所2階に防災備蓄倉庫を設置しました。災害時の迅速な対応、避難生活における健康被害を減らすなどの効果が期待されます。災害時の備えを強化し、平時からの防災意識向上にも寄与しています。

成長サポートシステム



今年から従業員の日々の努力や成果を評価シートに記入し、所属部署長との面談を4か月に1回実施しております。相互理解・成長の機会を提供することで、個人と会社のさらなる発展を目指すことを目的としています。

消火訓練



振動工具特別教育



がれきRC 新トラックスケール 完成 (5/7)



木くずRC トラックスケール、歩行者通路、路面標示工事 (7/22)



計量機リニューアル (8/5)



ホットライン

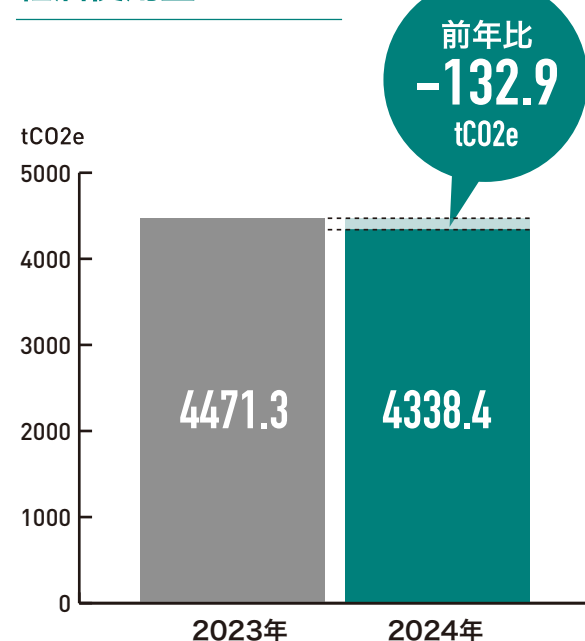
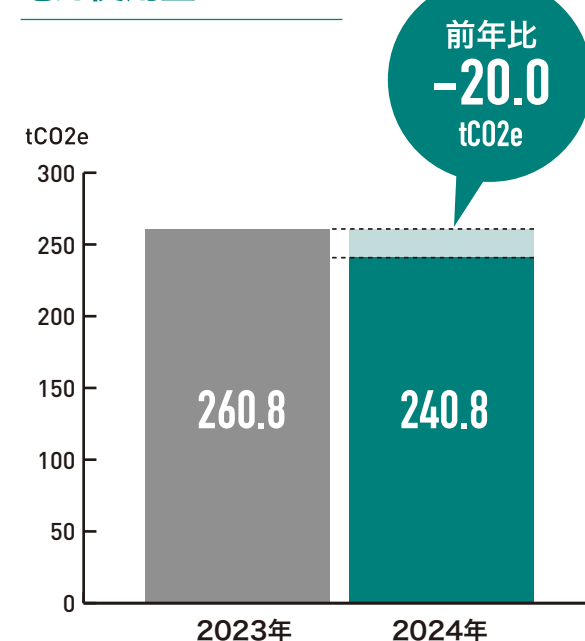


安全衛生委員会



マテリアルバランスに関する詳報

環境負荷軽減・コスト削減を目指し、より現実的な目標を立てるために算出しています。

SCOPE1
軽油使用量SCOPE2
電力使用量

削減貢献量

木くずチップ生産による
CO₂の抑制

20,582 tCO₂e

ペットボトルキャップ回収
リサイクルによるCO₂の抑制

45 tCO₂e

SCOPE1+SCOPE2

CO₂排出量4,579.2 tCO₂e

削減貢献量

CO₂削減量20,627 tCO₂e2024年のCO₂削減量

= -16,047.8 tCO₂e

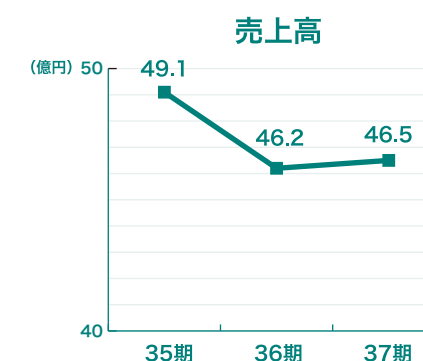
数字でみる姫路環境開発

37期売上



46.5億円

※2023年3月～2024年2月



従業員数

※2024年12月時点



全体

122人



女性比率

22%

創業



38年

新規電子契約数



281件

※2024年

産休&育休取得率



100%

※2024年

育児休暇制度
取得後の復帰率

100%

※2024年

2024年度取得紹介



スペシャリスト アソシエイト

52人

※2024年

資格例

破砕・リサイクル施設技術管理士認定証
フォークリフト運転技能講習修了証
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育
情報処理技術者試験【ITパスポート】合格 など

産廃収集運搬許可エリア

姫路環境開発は収集運搬許可を幅広いエリア・品目で取得することにより、お客様からの様々な依頼へ柔軟に対応することができます。

信頼の証、優良認定多数！

産業廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物
収集運搬業

近畿地方 13件

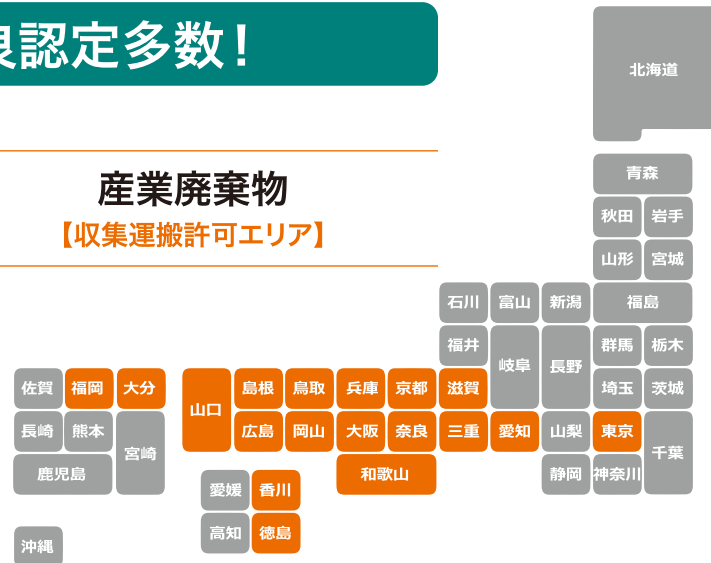
中国地方 9件

関東地方 2件

他の地域 **7件**

産業廃棄物

【収集運搬許可エリア】



一般廃棄物

【収集運搬許可エリア】

姫路市 たつの市 太子町 上郡町 相生市



優良産廃処理業者認定制度

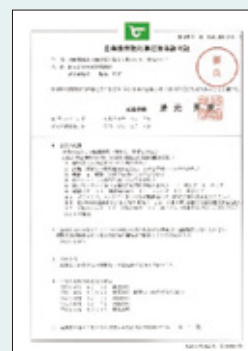
産業廃棄物許可

優良認定
32件

優良許可基準

- 1 遵法性
- 2 事業の透明性
- 3 環境配慮の取り組み
- 4 電子マニフェスト
- 5 財務体質の健全性

※詳しくは環境省のHPでご確認ください。



許可証一覧は
こちら▼



優良産廃処理業者認定制度とは、通常の許可基準より厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者を都道府県・政令都市が審査し認定する制度で、当社は32件すべての許可において、優良認定を取得しています。

許可エリア及び許可品目

産業廃棄物許可一覽表

品 目 自治体	燃え殻	汚 泥		廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん
		無機	有機																
姫路市(処分)		◎					○	○	○	○		○	○	○		○			
兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
姫路市	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●
大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
滋賀県	○	○					○	○	○	○		○	○	○		○			○
京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○
三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○			○
愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
鳥取県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○
広島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○
島根県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都							○						○	○					
山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○
福岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
大分県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○
香川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○
徳島県		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			

● …… 積替え保管あり ◎ …… 限定有り

特別管理産業廃棄物許可一覽表

自治体		品 目		廃石綿	感染性廃棄物	廃 油		廃 酸				廃アルカリ				汚 泥				燃え殻				ばいじん		鉱さい	
						特別管理	特定有害②	特別管理	特定有害①	特定有害②	特定有害③	特定有害④	特別管理	特定有害①	特定有害②	特定有害③	特定有害④	特定有害①	特定有害②	特定有害③	特定有害④	特定有害①	特定有害②	特定有害④	特定有害②	特定有害①	特定有害②
兵庫県		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
大阪府		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
奈良県		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													
和歌山県		○	○	○		○					○																
滋賀県		○																									
京都府		○																									
三重県		○		○		○					○																
愛知県		○		○		○					○																
岡山県		○																									
鳥取県		○																									
広島県		○	○	○		○					○				○					◎			○		○		
島根県		○	○	○		○					○																
東京都		○																									
香川県		○	○	○		○					○				○	◎				○	◎		○		○ ◎		

◎ …… 一部を除くもの

特定有害① 重金属:水銀、カドミウム、鉛、六価クロム、ヒ素及びこれらの化合物

特定有害② 溶 剤:トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1・2-ジクロロエタン、1・1-ジクロロエチレン、シス-1・2-ジクロロエチレン

1.1.1-トリクロロエタン、1.1.2-トリクロロエタン、1.3-ジクロロプロペン、ベンゼン、シアン化合物

特定有害③ 農 薬:チウラム、シマジン、チオベンカルブ、有機燐化合物

特定有害④ ダイオキシン類

笑顔の輪、 広がる。



2024年
受賞者 82人

総発行枚数
108枚

会社の雰囲気を明るく、笑顔にさせた従業員の方々にスマイルカードをカード裏面にメッセージを添えて贈呈しております。従業員の新たな一面や、陰ながらの努力はそばにいる仲間から発見されることが多くあります。スマイルカードの文化を通して社内全体が笑顔でいっぱいになることを願っています。

受賞者への メッセージ

誰にでも分け隔てのない対応や声掛けをしてくださり、周りを勇気づける言葉にいつも元気を貰っています。接点が少ない人にも声をかけ笑顔で気さくに話されていることや、他部署にも関心を寄せて情報を取り入れていることが素晴らしいです。

おまけ
だよ!



バッカン・コンテナの注意事項

容器の高さを超える量・過度な重さの廃棄物投入はご遠慮ください。容器が壊れる場合や、容器を車両に吊って載せることができない場合があります。



持ち込みで気を付けてほしいこと

廃棄物の過積載(積み過ぎ)にご注意ください。安全基準遵守のため、過積載の車両についてはご入場をお断りさせていただいております。



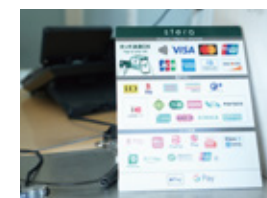
ひめかんティッシュ

姫路環境開発のオリジナルグッズとして2種類のデザインでBOXティッシュを作りました!

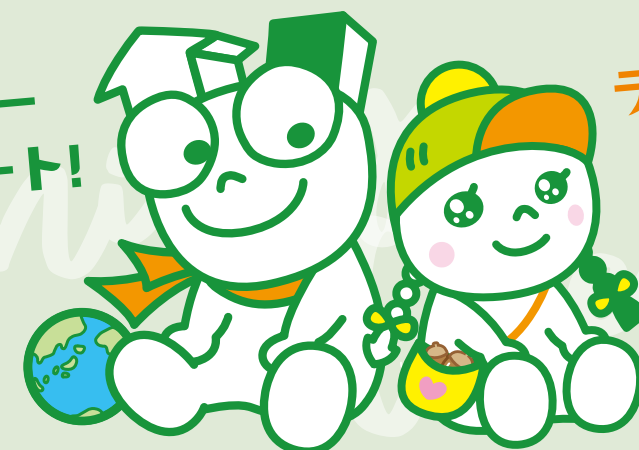


キャッシュレス決済導入

現金のみだった持ち込み時のお支払い方法がこのたびクレジットカード、デビットカード、電子マネー、QRコード決済、モバイル決済など、さまざまな支払い方法に対応しました。



スマイリー
アップデート!



ラブリー
誕生!!

ひめかんスマイリー (Smily)

通称:スマイリーくん

誕生日: 1月21日
出身地: 日本(姫路市)
性別: 男の子
性格: おっとりマイペースで、責任感が強い
相棒: アースくん

ひめかんラブリー (lovely)

通称: ラブリーちゃん

誕生日: 10月5日
出身地: 日本(姫路市)
性別: 女の子(スマイリーくんの妹)
性格: 山を愛する女の子。
山を元氣いっぱい走り回って遊ぶのが大好き。

いつまでも美しい地球であることを願う人たちの想いがいっばいに溢れ、それが弾けて、スマイリーくんが誕生しました。地球を守ることを使命として生まれたスマイリーくんは、同じ使命を持つ7人の仲間とともに、環境を守り次世代へ継承していくためにどうすればいいかを考え、日々環境保全のための取り組みに励んでいます。

スマイリー制作秘話

スマイリーは、姫路環境開発のロゴマークをモチーフに誕生したキャラクターです。そのデザインには、姫路環境開発が目指す地球環境との共生への思いが込められています。地域の皆様にその想いを知っていただき、親しみを感じていただける存在となることを目指しています。

キャラクター制作会社に インタビュー

株式会社A.D.D
三輪 太郎 氏



多くの人々に愛され、そして企業のメッセージが自然と浸透し、企業ブランド認知度の向上にも貢献できるようなキャラクターを目指しました。親しみやすさと信頼感を兼ね備え、長く愛され続ける存在となるように工夫を重ねました。